sunsun通信

特定非営利活動法人・豊中市民エネルギーの会広報紙

第６号

2018年１月10日

新年おめでとうございます。本年が皆様にとって良い年になりますように願っています。

2017年２月蛍池のあっぷるこども園の屋根をお借りして設立した「あっぷるおひさま発電所」は順調に発電しています。

原発や石炭火力に頼らず地球温暖化を食い止めるためにささやかな貢献ができればと願っています。今後ともご協力宜しくお願い致します。

市民・地域共同発電所全国フォーラム2017in福島 参加報告

自然エネルギーは福島の希望です！

2017年11月２日から４日まで福島市の“コラッセふくしま”で行われた全国フォーラムに参加しました。２日間の参加者は約500人でした。

開会挨拶は実行委員長の福島大学名誉学長今野順夫さんで「原子力に依存しない安全安心な社会をつくるために再生可能エネルギーに取り組み、２０４０年ごろには１００％を目指します。そしてそれを地域住民に還元します。」とアピールし、また福島市長小林香さんは「原子力に依存しないを目標にして、まちづくりをし、核となる人物を中心に行政と市民で一緒に取り組みたい。」と述べました。

基調報告の一つは名古屋大学の高橋ゆかりさんが「日本の再生可能エネルギー政策の最新動向」と題する報告で、パリ協定が採択された２０１５年はエネルギーの歴史的な転換期で、人為的な温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする脱炭素社会を目指すことが決まり、今世界で自然エネルギーへの大規模なエネルギーシフトが起こっている。RE１００という再エネ１００％の取り組みのビジネス化も始まり、日本も政府が予想していた以上に再生可能エネルギーが普及しているのです、ということでした。

さらに「エネルギー自立を目指す会津地域での取り組み」として「会津電力株式会社」を起業した佐藤彌右衛門さん、「再エネ活用による土湯温泉のまちつくり」として「株式会社元気アップつちゆ」の加藤勝一さんが、それぞれの地域でのエネルギーの自立とまちおこしの取り組みを説明しました。「東京に奪われたエネルギーを福島に取り戻す！」の精神です。

地域新電力のつくり方の講座では　自治体による日本初の低圧電力売買事業会社で知られる“みやまスマートエネルギー（株）”（福岡県）が、「地域でエネルギーが循環し市内で生産、消費、雇用に結びつけるような取り組みをしていて10軒に１軒パネルを取り付けている、発電予測には過去の実績が必要です、各家庭の電力量使用実績をもとにその電力波を分析して省エネの指導をしています。」との報告でした。また“みんな電力”（長野県）では、参加できる電力会社として、自転車発電を設置したり、新電力に関する講座を開きました、という内容。さらに出力制限をかけない社会を目指し、「長野県の電気を使いたい」というような意見を取り込める新電力の広域の連携が必要という意見も出ました。

各団体の取り組み報告と交流会もありました。その報告は次号で行う予定です。（衛藤ますみ）

今後の予定

◉ベランダでもできる
自分電気作ってみませんか！
2月3日（土）1時半～　すてっぷ視聴覚室

◉出前授業　“地球温暖化を考えよう”
- **２月８日（木）**　克明小学校
- **２月15日（木）**　豊島小学校
- **２月16日（金）**　豊島西小学校

宝塚すみれ発電所を見学して

2017年10月、宝塚すみれ発電所を見学しました。見学会には８人が参加し、西谷地区のソーラー発電機を見学しました。

すみれ発電所は、2011年の東日本大震災の苦い教訓から、原子力発電に代わる安全で環境にやさしい自然エネルギーを活用するため、翌年12月に宝塚市西谷地区で農家の土地を借り、市民の手づくりで建設された太陽光発電所です。その後、次々と太陽光発電所を建設し、現在は６基、施設容量合計186KWに成長しています。

西谷地区で土地を提供した農家さんは、太陽光を農業と発電の両面で生かそうと西谷ソーラーシェアリング協会を結成しました。現在、西谷地区では６基294KWの太陽光発電所が完成しています。その一つがすみれ発電所の４号機で今回見学した施設です。

そこでは農地の高さ3.5mの空中に、30%はソーラーパネルが市松模様に並び、70%は開いています。発電しながら、農作物も育ち、耕運機も使え、日陰もできて農作業も楽という優れものです。少し日影があるため野菜の葉が柔らかくなり、ブランド野菜にする検討もはじまっています。

農地も市民農園で賑わったり、若いＩターン農業者が耕作したりと、農業と農村が活性化していくように見えました。

すみれ発電所はＮＰＯ法人新エネルギーをすすめる宝塚の会（ＲＥＰＴ）が運営しています。

市民力フェスタ・環境展に参加

11月5日（日）大塚公園での市民力フェスタでは、支援者提供のサツマイモなどと女性陣が手作りした焼きおにぎりを販売し、その売上金で今年も福島の青葉学園にクリスマスプレゼントとしてみかんを10キロ送りました。

またいいお天気だったので無料電気の提供やソーラークッカーのホットコーヒー販売で、自然エネルギーのアピールができました。

11月10日（金）、11日（土）の豊島体育館でのとよなか市民環境展にも参加しました。

ここでは市内の小学校が８校見学予定と知り、あわてて出前授業のチラシを用意し配布、そのうち２校から２月ごろ“地球温暖化を考えよう”の授業を実施したいとの連絡を受けました。

反省で「参加者に配るリーフレットがあったらよかった。」との意見が出ました。リーフレットは制作中でまもなく出来上がります。

太陽光発電候補地を募集しています！

あっぷるおひさま発電所に続く、太陽光発電機を設置できる場所の情報をお寄せください。公共性のある建物の屋根が望ましいですが、空き地、駐車場、駐輪場などでもパネル設置できます。

あっぷるおひさま発電所の発電累計
9143kWh（2017年2月15日～11月7日）
2017年12月20日現在の会員
会員数　５９人、賛助会員　10人

特定非営利活動法人・豊中市民エネルギーの会
連絡先　560-0034　豊中市蛍池南町3-2-11-105
電　話　06－6843－3568（FAX兼）
メール　masumi-e@hotmail.co.jp
ホームページ　http://toyonaka-energy.net/
郵便振替　口座記号番号　00920-2-332550
加入者名　豊中市民エネルギーの会